

1 競技規則

本大会は、日本モルック協会公式ルールガイドブックを基本とし、主催者が定める以下の大会特別競技ルールにより実施する。

2 特別競技ルール

- (1) 本大会において上投げによる投擲を禁止する。
- (2) コートの大きさは横7m×縦15mとし、スキットルはモルッカーリから3.5mの位置に配置する。
- (3) 1チーム、3人から4人で構成する。
- (4) 試合は、1チーム3名で行う。選手交代、投擲順は、試合毎に変更できる。
- (5) 同じ試合の間は、チーム内の投擲順を変更することはできない。
- (6) 試合途中で体調不良、怪我等で試合続行が無理な場合のみリザーブ選手と途中交代を認める。
- (7) 1チーム3名に満たない場合も試合は行えるが、人数の不足分は「プレイヤーの不在」として投擲ミス扱いとなり0点となる。
- (8) モルックを投げる際、モルッカーリに触れたり超えたりした場合はフォルトとなり、その得点は0点になる。(37点ルールは適用する。)
- (9) 投擲選手のコール、得点記録は各コートの担当スタッフが行う。
- (10) 一投ごとの制限時間は30秒以内とする。
長考を指摘された後、10秒以内に投擲モーションに入らなかった場合およびそのモーションを外して再度検討を始めた場合はフォルトとする。
- (11) 1試合のチーム単位の投擲順は、セット毎にローテーションを行う。
1セット目(A→B→C) 2セット目(B→C→A) 3セット目(C→A→B)
- (12) モルックの立て直しは投擲チーム以外の選手が協力して行う。
- (13) 1セットは50点到達、12ターン経過、セット開始15分経過のいずれかに達した時点で終了とする。この中で、セット開始15分経過については、開始15分経過時点での各チームのターンを終えた時点でセット終了とする。
- (14) 合計得点が同点の場合は、各チーム代表者1名によるモルックアウトを実施し順位を決定する。モルックアウトでの得点は順位の判定のみに使用する。モルックアウトの投擲順はじゃんけんで決める。
投擲順はA→B→B→Aで行い勝敗が決まるまで繰り返し行う。
- (15) 1セットで2チームが失格となった場合は、残りのチームは50点とする。

3 大会運営

- (1) 組み合わせ抽選は、主催者側で組み合わせを決定します。
- (2) 試合開始5分前に試合を行うコート前に集合してください。
- (3) 予選は3チームによるブロック予選を行い、3セットの総得点で順位を決定する。
得点表に試合メンバーの記入、チーム同士で投擲順を決めます。
- (4) 決勝は、ブロック予選の順位の1位、2位、3位に分かれてトーナメント戦を行う。
- (5) 疑義がある場合は、必ずキャプテンからスタッフに申し立てを行ってください。
- (6) キャプテンから疑義が申し立てがあった場合は、キャプテン間の話し合いで決める。
それでも決まらない場合は、スタッフを交えて協議する。

4 その他

- (1) メンバー変更は、2日前までに大会事務局に申し出ること。
- (2) 参加者は、当日の健康状態を把握し無理のないようにする。
- (3) 大会参加選手については、主催者側で傷害保険に加入する。
- (4) 競技中の怪我については、傷害保険の範囲内で補償します。その後の責任は一切負いません。
- (5) 自然災害の発生及び発生が見込まれる状況、その他主催者側が大会の開催が困難であると判断した場合は、開催内容の変更又は開催を中止する場合がある
- (6) 大会開催中に主催者が撮影した写真は広報、SNS等で公開する場合があります
- (7) 本大会で撮影された画像・映像については、撮影者に責任が生じます。不用意に外部に流出させることの無いように留意して下さい。